

ごあいさつ

京都府では令和4年12月に京都府政の羅針盤となる「京都府総合計画」を一年前倒しで見直しました。この中で、農林水産分野では社会情勢の変化を好機と捉え、先端技術の活用やオープンイノベーションの促進、次代を担う人材の確保・育成の強化などにより、農林水産産業の成長産業化を図るとともに、外部人材の活用等を通じた地域コミュニティの再構築や地域ビジネスの展開などにより、農山漁村の維持・発展を進めることとしております。

そして、この総合計画に示された農林水産分野における展望と戦略を具体化し、着実に実行するため、「京都府農林水産ビジョン」(令和5年3月)についても、京都府農林水産部が改定しました。改定に当たりましては、社会情勢の変化および京都府総合計画の改定内容を踏まえて、新たに取り組むべき施策の方向性を見直し、農林水産業・農山漁村分野の視点に加え、新たに食品産業分野の視点を追加しています。

このビジョンでは、京都府の農林水産業・農山漁村が目指す姿として、【ビジネス（農林水産業）】「魅力的な「産業」として夢あふれる農林水産業のイノベーションが実現されている」、【コミュニティ（農山漁村）】「地域の人々の希望と活力に満ちた「農山漁村」が実現されている」、【セキュリティ（安心・安全）】「防災対策や食料の安定供給、食の安全性確保など「安心・安全」な地域社会が実現されている」としており、その重点戦略として、次の5つを実施していくこととしています。

- ① フードテックと基盤強化で農林水産業の夢と安心を創造する。
- ② 森林を適正に管理し、林業の発展と豊かな森を実現する。
- ③ オープンイノベーションでブランド価値を進化させる。
- ④ 人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材が育む。
- ⑤ 人と資源の活用で、持続可能な農山漁村コミュニティを創る。

農林水産技術センターでは上記の重点戦略を推進し、高度化・複雑化する農林水産業の技術的課題に対応するため、分野横断型の研究体制を構築するとともに、次世代型農林水産業の実現に向けた生産技術の研究開発・実証及び人材育成を行うこととし、次の機能を強化していきます。

- (1) 異業種を含む産学公連携による開かれたネットワークの形成
- (2) 中山間地域が多い京都の特性にマッチしたスマート技術の開発・実証
- (3) 「中食」などの新たな需要創造に向けた機能性食材や新品種の開発
- (4) 加速化する技術開発に対応した実践的研修プログラムによる人材育成
- (5) フィールド（現場）研究の重点化と分野（農畜水林）を超えた総合的な研究の実施

農林水産技術センターは農林水産業・食品産業の皆様のために新しい技術を開発し提供することで、京都府民の皆様にご貢献できるよう、関係者と幅広い協力体制のもと、生産現場の課題解決に努めて参りますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

京都府農林水産技術センター長